



平成 29 年度
事業報告書

社会福祉法人 やながせ福祉会
認知症対応型通所介護
大津みやび野デイサービスセンター

平成 29 年度 事業計画

目 標	提供する余暇活動の種類を増やす。
理 由	<p>一日のプログラムの中で様々な余暇活動を提供しているが、午前中の過ごし方が段々と単調になってきている。また認知症による認知力の低下も利用者によって様々であるが、状態によって余暇活動の内容を工夫するところまで至っていないため、全ての利用者が主体性を持って取り組めるよう余暇活動の種類を増やす必要があるため。</p>
具体的対応策	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員会議の際に全職員が余暇活動に対する意見を持ち寄り、検討する場を設けることで情報や意識の統一を図る。 2. 園芸や手作業など余暇活動のボランティアを募るチラシを作成し、民生委員に協力してもらい啓発する。 3. 相談員会議で毎月余暇活動に対して検討し、他事業所の取り組みなど情報収集を行う。 4. 事業所として職員が余暇活動やレクリエーションに対する外部研修に3回は参加する。 5. 研修に参加した職員は事業所内で研修会を実施し、得た知識や方法論を他職員に伝達する。

平成 29 年度 事業報告

事 業 報 告	<p>午前中の余暇活動の改善に向けて、時間の見直しを行い、個別作業だけでなくレクリエーションの時間を確保した。個別作業については、種類を増やし、バリエーションを設けることで利用者の認知力に合ったものを提供することが出来た。また、レクリエーションについては、偏りがないよう実施内容の記録を残し、職員間で共有することで、午前中の過ごし方は改善できた。</p> <p>職員の外部研修の参加は調整が難しく出来なかったが、内部研修の一貫として、レクリエーション本の定期購入、他事業所の取り組みにおける情報収集を行い、職員会議で検討する場を設け、職員の統一を図った。まずは現在の取り組みをしっかりと定着させ、土台を固めた状態でボランティアの受け入れ体制を整えていく。</p>
---------	---

<p>事業運営総括</p>	<p>情報発信の不足からか認知症対応型デイサービスの認知度が低いことを受けて、平成 29 年 11 月に作品展示会を実施した。利用者における作品の展示のみならず、近隣中学校生徒の書道や自由研究の作品展示を行った。展示会には近隣住民の方が多く来てくださり、地域密着型の事業所として地域交流を行うことができた。その準備を職員で手分けして実施したことで個々の職員の意識向上にもつなげることができた。</p> <p>今年度の利用稼働率は 78.5%で昨年度より 2.3%下がった。原因としては利用者の認知症の進行や身体状況の悪化から在宅での生活が困難になり、施設に入所される方やショートステイの利用日数が増えたことが考えられる。利用者及びご家族、居宅介護支援事業所に事業所独自の活動報告書を作成し、配布する取り組みを新たに始めているが、内容を都度見直しながら引き続き実施することで、事業活動の周知を図っていく必要がある。</p>
---------------	--

要介護度の状況 《平均要介護度 介護 2.08》

平成30年3月31日 現在

	人数	割合
要支援1	2	7%
要支援2	1	3%
要介護1	7	23%
要介護2	7	23%
要介護3	5	17%
要介護4	5	17%
要介護5	3	10%
合計	30	100%

月間利用実績（人数）

平成29年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	1	1	2	2	2	2	2	2	3	3	3	2	25
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
要介護1	10	10	10	10	12	11	10	9	7	7	7	7	110
要介護2	8	7	8	7	7	7	9	9	9	9	8	7	95
要介護3	5	5	5	4	3	5	4	5	4	4	4	5	53
要介護4	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	5	46
要介護5	1	1	1	1	1	1	2	2	3	3	3	3	22
合計	28	27	29	28	29	30	31	31	30	30	29	30	352

月間利用実績（延べ人数） 《稼働率 78.5%》

平成29年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	4	3	8	10	5	8	8	7	10	11	13	9	96
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	9
要介護1	55	71	68	67	72	64	62	47	40	37	38	48	669
要介護2	85	76	63	61	61	61	75	86	90	94	75	92	919
要介護3	56	49	60	56	36	54	55	59	48	43	45	49	610
要介護4	35	38	32	37	42	40	43	42	39	36	41	39	464
要介護5	4	5	4	3	4	4	14	12	19	16	19	20	124
合計	239	242	235	234	220	231	257	253	246	237	231	266	2,891

開所日数

平成29年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	25	27	26	26	26	26	26	26	24	24	24	27	307

曜日別延べ利用実績

平成29年度

	月	火	水	木	金	土	合 計
人 数	533	531	510	528	391	551	2,891
割 合	18%	18%	18%	13%	14%	19%	100%

1週当り平均利用人員

平成29年度

	月	火	水	木	金	土	合 計	1日平均
人 数	10.4	10	10	10.1	7.6	10.5	58.6	9.76
割 合	18%	17%	17%	17%	13%	18%	100%	—

回数別利用人員

平成30年3月31日 現 在

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	合 計
人 数	9	9	7	4	1	0	30
割 合	29%	29%	26%	13%	3%	0%	100%

保険者の状況

平成30年3月31日 現 在

保 険 者	人 数
姫 路 市	30
合 計	30

年齢別構成状況

平成30年3月31日 現 在

	65歳以下	65歳以上	70歳以上	75歳以上	80歳以上	85歳以上	90歳以上	合 計
		から 70歳未満	から 75歳未満	から 80歳未満	から 85歳未満	から 90歳未満		
男	0	0	0	4	5	5	0	14
女	0	0	1	2	6	7	0	16
全 体	0	0	1	6	11	12	0	30

日常生活状況

平成30年3月31日現在

区 分		実数	割合
歩 行	自立歩行	20	74.1%
	杖等の歩行補助器使用	5	18.5%
	車椅子使用	2	7.4%
食 事	自分で可能	23	85.2%
	一部介助	1	3.7%
	全部介助	3	11.1%
入 浴	自分で可能	13	48.1%
	一部介助	8	29.7%
	全部介助	6	22.2%
着 替	自分で可能	13	48.1%
	一部介助	8	29.7%
	全部介助	6	22.2%

区 分			実数	割合
排 泄	トイ レ	自分で可能	14	51.9%
		介 助	12	44.4%
	内おむつ使用		1	3.7%
認 知 症 老 人			27	100.0%

対 象 人 数	27
---------	----

行事報告

	行 事	趣味・生きがい活動	レクリエーション及び体操
4月	ドライブ：桜・芝桜鑑賞 お菓子作り	計算ドリル 漢字トレーニング 塗り絵	ボーリングゲーム 回想カルタ
5月	園芸・喫茶外出	計算ドリル・塗り絵 書道（ペン）習字	風船バレーボール 音楽療法 百人一首
6月	ドライブ：紫陽花鑑賞	計算ドリル・漢字トレーニング 塗り絵	輪投げゲーム 風船バレーボール もぐらたたきゲーム
7月	お菓子作り	書道（ペン）習字 塗り絵・計算ドリル	ブロック積み 回想カルタ ボーリングゲーム
8月	夏祭り	カラオケ・塗り絵・計算ドリル 書道（ペン）習字	音楽療法 風船バレーボール 百人一首
9月	喫茶外出	書道（ペン）習字 カラオケ・塗り絵・計算ドリル	おじゃみ投げ ブロック積み ボーリングゲーム
10月	祭り見学 お菓子作り ドライブ：コスモス鑑賞	漢字トレーニング 計算ドリル・塗り絵	絵合わせゲーム 輪投げ 風船バレーボール
11月	ドライブ：紅葉観賞 お菓子作り 交流会	計算ドリル・漢字トレーニング 書道（ペン）習字 カラオケ・塗り絵	旗揚げゲーム ボール体操 棒体操
12月	クリスマス会	計算ドリル・漢字トレーニング 塗り絵	ボーリングゲーム おじゃみ投げ ブロック積み
1月	初詣	計算ドリル・漢字トレーニング 書道・塗り絵	風船バレーボール 回想カルタ パターゴルフゲーム
2月	節分豆まき お菓子作り	計算ドリル・漢字トレーニング ペン習字・塗り絵	風船バレー 輪投げ ボール投げゲーム
3月	ドライブ：梅見観賞	計算ドリル・漢字トレーニング ペン習字・塗り絵	手指体操 ボール体操 ストラックアウトゲーム

	行 事	趣味・生きがい活動	レクリエーション及び体操
定期的	ドライブ外出 お誕生日会 世代間交流	書道・ちぎり絵	ビデオ体操・散歩・口腔体操 メドマー、マイクロサーミ ラジオ体操

職員間の内部研修の実施状況

研修名	研修内容	研修内容	参加職種	参加人数	期 間	講師(職・氏名)
基本理念・接遇研修	法人理念・服務の心得・接遇・個人情報保護についての取り扱いについて		全常勤	36名	4月1日	施設長(細野欣之)
人権研修	身体拘束等人権意識について		介護職員 看護職員	53名	5月11日～5月18日 (4回)	介護支援専門員 (河崎文武)
食中毒研修	食中毒の原因、対策について		全職種	54名	6月8日～6月25日 (4回)	管理栄養士 (和田奈保美)
生活習慣病研修	産業界による健康診断の総評及びび痛について		全職種	57名	7月25日	嘱託医(久保精一郎)
リスクマネジメント研修 (ヒヤリハットについて)	ヒヤリハットの活用方法について		全職種	58名	7月26日～8月12日 (4回)	リスクマネジメント委員会 (生活相談員・濱下隆史)
排泄ケア研修	陰部洗浄の必要性及びその手順について		介護職員 看護職員	46名	7月6日～7月23日 (3回)	排泄委員会 ユニチャーム研修担当者
褥瘡研修	褥瘡の理解について		介護職員 看護職員	45名	8月9日～8月13日 (4回)	褥瘡委員会(看護師)
入浴介助研修	入浴マニュアル(入浴介助、準備、掃除、事前確認)について		介護職員 看護職員	29名	9月21日～9月28日 (4回)	入浴委員会
記録研修	記録(目的、種類、とり方)について		介護職員 看護職員	50名	10月19日～10月29日 (4回)	ユニットリーダー (各ユニットリーダー)
感染症対応研修	吐しゃ物処理対応について		介護職員 看護職員	52名	11月16日～11月26日 (4回)	ユニットリーダー (各ユニットリーダー)
看取りケア研修	看取りについての考え方やケアについて		介護職員 看護職員	30名	12月7日～12月24日 (4回)	介護支援専門員 (河崎文武)
食事研修	適切なとろみ剤の濃度及び使用法の統一について		介護職員 看護職員	35名	1月11日～1月28日 (4回)	食事委員会 ユニットリーダー研修担当者
介護保険研修	介護保険制度の概要について		介護職員 看護職員	43名	2月8日～2月25日 (4回)	居宅介護支援専門員 (岸早春・安房加代子)
腰痛予防研修	腰痛対策について		介護職員 看護職員	21名	3月1日～3月7日 (2回)	株式会社たんぼぼ
リスクマネジメント研修	事故報告書及び危険予知について		全職種	20名	3月18日～3月29日 (4回)	リスクマネジメント委員会 (生活相談員・濱下隆史)

参加人数は併設事業所も含む。

法人研修

研修名	研修内容	参加職種	参加人数	期 間	講師(職・氏名)
セイフティマネジメント研修	「セイフティマネジメント」と「リスクマネジメント」について(講義)	全常勤	43名	6月7日	株式会社CMI代表取締役 (丸岡義明先生)
介護業界とサービス研修	福祉産業、介護業界でのサービスについて(講義)	全常勤	76名	10月24日～10月28日 (3回)	勝原第二デイサービス (管理者・辻勝彦)

参加人数は併設事業所も含む。

職員の外部研修の受講状況

研 修 名	研 修 内 容	参 加 職 種	参加人員	日 付	期 間	場 所	研 修 結 果 の 報 告 方 法
新任職員研修会	福祉サービスの心構え、スマイルエクササイズについて	介護職員	2名	5月12日	1日間	姫路商工会議所	口頭・復命
兵庫県福祉介護職員合同入職式	合同入職式、新人研修会	生活相談員	1名	6月13日	1日間	兵庫県公館大会議室	口頭・復命
介護の今、そして未来	可能性への挑戦、介護におけるリスクマネジメントについて	介護職員	1名	7月14日	2日間	和歌山県民文化会館	口頭・復命
相談面接技術研修（中級）	非言語的コミュニケーション、かわり行動について	生活相談員	1名	7月26日	2日間	関西学院西宮上ヶ原キャンパス	口頭・復命
相談面接技術研修（初級）	コミュニケーションの基本について	生活相談員	1名	8月29日	1日間	兵庫県社会福祉研修場	口頭・復命
講習会、展示会in神戸	展示会、講演	管理者	1名	10月14日	1日間	神戸国際展示場	口頭・復命
デイケア「管理者研修会」	デイの利用増につながる、具体的活用について	管理者	1名	1月25日	1日間	兵庫県福祉センター	口頭・復命

避難訓練の実施状況

実施日	訓練種目	訓練内容
5月17日	みやび野合同避難訓練	みやび野エリア事業所合同避難訓練の実施（厨房）
8月31日	日中体制訓練	日中体制による避難訓練、放送、通報機器の使用確認
9月27日	日中体制訓練	日中体制による避難訓練、放送、通報機器の使用確認
11月29日	合同緊急対応訓練	みやび野エリア事業所合同での火災対応設備の確認及び簡易担架の作成法等緊急対応の確認
3月8日	消防署現場確認	消防設備及び避難体制の確認

苦情対応

平成 29 年度は苦情なし

事故対応

発生日	事故内容	事故対策
平成 29 年 6 月 1 日	「利用者の所在不明について」 隣接特養の交流室で卓球等の運動後、認知症デイルームに戻りコーヒーを飲まれていたが、職員が気付いたときに姿が見えず探していると隣接特養におられ、特養の職員が発見する。	①フロアを出る利用者には、戻ってこられるまで見守りを行い、必ず付き添う。 ②施設外へ出た際に捜索出来るように本人の特徴を説明できる顔写真を管理する。
平成 29 年 10 月 21 日	「転倒について」 デイサービス終了後にエレベーターで 1 階へ降り、出ようとした 1 歩目につまずかれて転倒される。	①付き添いが必要な利用者に対しては、その日しっかりと歩かれていても付き添うように対応する。 ②歩きだしの 1 歩目は手を持ち支えるように対応する。
平成 29 年 12 月 5 日	「請求誤りにについて」 2 割負担の対象であった利用者に対して誤って 1 割負担で入力、請求を行ってしまう。うまく請求が行えなかったことで発覚したため、速やかに対処を行う。	①他事業所による新規利用者の場合は、基本情報・被保険者情報・負担割合を入力した後に再度正しく入力できているか見直しを行う。 ②請求書を作成する前に再度請求一覧表を確認する。